

- 問1 明治初期、政府が巨額の資金を投じて群馬県に富岡製糸場を建設した主な目的として、当時の経済状況をふまえて説明したものを選びなさい。
(2020年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 海外からの安価な製品に対抗するため、関税をかける代わりに製造コストを極限まで下げるため。 | 2. 高品質な生糸を大量生産することで外貨を獲得し、軍事や産業の近代化資金に充てるため。 | 3. 地方の農村に新たな雇用を生み出し、士族授産（元武士への職の提供）を支援するため。 | 4. 国内の綿織物需要をまかなうために、原料となる綿花の栽培と加工を一貫して行うため。 |
|---|--|---|---|
- 問2 東京都心部の地価が周辺の郊外地域に比べて著しく高くなっている主な理由として、都市の機能と土地利用の観点から最も適切な説明はどれですか。
(2022年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 都心部には官公庁や企業のオフィス、商業施設が高度に集積しており、土地利用の効率性と経済的価値が高いため。 | 2. 都心部は建物の高さ制限が郊外よりも厳しいため、1階あたりの土地利用料を高く設定する必要があるため。 | 3. 都心部には広大な農地や工業用地が確保されており、食料生産や製造業の拠点としての需要が集中しているため。 | 4. 都心部は郊外に比べて人口密度が低く、豊かな自然環境を維持するための管理費用が地価に上乗せされているため。 |
|---|--|--|---|
- 問3 東京都渋谷区の統計によると、夜間にその区域に住んでいる居住人口は約22.4万人ですが、昼間の時間帯には周辺地域からの通勤・通学者が流入し、人口が約53.9万人にまで増加します。このような都市中心部で見られる人口の特徴について、正しく説明しているものはどれですか。
(2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|--|
| 1. 郊外へのオフィス移転が進んだ結果、通勤・通学者が減少し、昼間人口が減少傾向にある。 | 2. 交通網の発達により、昼間人口と夜間人口の差がほとんどなくなっている。 | 3. 周辺地域からの通勤・通学者の流入が多いため、昼間人口が夜間人口を大きく上回っている。 | 4. 都心での生活コストが高いため、昼間人口よりも夜間人口のほうが多い状態になっている。 |
|--|---------------------------------------|---|--|
- 問4 都市の人口構造を示す「昼夜間人口比率（夜間人口を100とした時の昼間人口の割合）」について、東京23区のようにこの比率が100を大きく超える地域の特徴として、最も適切なものはどれですか。
(2021年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 周辺の県に比べて農地や工場が多いため、日中に周辺地域へ働きに出る人が多い。 | 2. 都市の中心部にオフィスや学校が集中しており、周辺地域から多くの人々を吸い寄せている。 | 3. 地価が安いいため、中心部に住居を構える世帯が多く、夜間人口が昼間人口を上回っている。 | 4. 郊外に大規模なニュータウンが形成されており、夜間に多くの人々が帰宅してくる居住機能が中心である。 |
|--|---|---|---|
- 問5 昼夜間人口比率は、ある地域の夜間人口に対する昼間人口の割合を示したものです。ある地域における「昼間人口」を算出するための正しい計算式として適切な説明はどれですか。
(2022年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. その地域の夜間人口に、地域外へ通勤・通学する人を加え、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を引く。 | 2. その地域の夜間人口に、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を加え、さらに他市区町村へ転出する人を加える。 | 3. その地域の夜間人口から、地域外へ通勤・通学する人を引き、さらに他市区町村から転入してくる人を引く。 | 4. その地域の夜間人口から、地域外へ通勤・通学する人を引き、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を加える。 |
|--|---|--|--|
- 問6 千葉県は、昼間人口比率が約89.7となっており、全国的に見ても夜間人口に比べて昼間人口が少ない傾向にあります。このような人口動態が千葉県などの大都市周辺の県で顕著に見られる背景として、最も適切な理由はどれですか。
(2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 京葉工業地域などの臨海部に職住近接の住宅街が形成され、県内での移動のみで生活が完結する世帯が増えたから。 | 2. 東京の都心部にある企業や学校へ通う人が多いため、昼間は県外へ流出する人口が流入する人口を上回るから。 | 3. 成田国際空港の利用客や観光客が昼間に多く流入するものの、それ以上に夜間の居住者の増加ペースが速いから。 | 4. 高度経済成長期に整備されたニュータウンの高齢化が進み、県内での生産活動に従事する現役世代が減少したから。 |
|---|---|--|---|
- 問7 栃木県佐野市などにおいて、1960年代後半と1990年代後半の地形図を比較した際に見られる変化について、土地利用の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。
(2016年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 森林が広がっていた山間部が、大規模な寺院が集まる宗教地区へと作り替えられている。 | 2. 沼地であった低湿地が、地形を変えることなくそのまま工場の排水処理施設として利用されている。 | 3. かつては畑などの農地であった場所が、大規模な工業団地へと用途変更されている。 | 4. 都市部の商業地が、食料自給率を向上させるために大規模な畑へと転換されている。 |
|---|--|---|---|
- 問8 関東地方のある県は、製造品出荷額において石油・石炭製品が約26%、化学工業が約23%を占めており、これら2つの産業で全体の約半分に達しています。京葉工業地域の中核を担うこの県として正しいものはどれですか。
(2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 埼玉県 | 2. 東京都 | 3. 千葉県 | 4. 神奈川県 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問9 関東地方の農業産出額の内訳を分析すると、野菜の占める割合が約40%と非常に高いことがわかります。このように、関東地方において野菜の生産が特に盛んである理由として、最も適切な説明はどれですか。
(2026年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 火山灰が積み重なった土地が多く、稲作には不向きだが果実の栽培には非常に適しているから | 2. 冬の期間でも温暖な気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める促成栽培が中心だから | 3. 巨大な消費地が近くにあるため、輸送コストを抑えつつ、鮮度の良い農産物を市場へ供給できるから | 4. 広大な関東平野を利用して、大型機械を導入した米の生産に特化することが最も効率的だから |
|---|---|--|---|
- 問10 1960年代から70年代にかけて、東京の多摩や大阪の千里、泉北などでは、大規模な計画住宅地の造成が進められました。このような開発が行われた背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2024年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|
| 1. 地方の過疎化を防ぐため、農村部に新たな公共施設や商業施設を整備した。 | 2. 都市圏での深刻な住宅不足に対応するため、郊外の丘陵地などを大規模に開発した。 | 3. 都心の老朽化した建物を集約し、高層マンションやオフィスビルに建て替えた。 | 4. 輸出産業の拠点とするため、沿岸部の埋め立て地に大規模な工場を集積させた。 |
|---------------------------------------|---|---|---|
- 問11 関東地方の北西部に位置し、東経140度の経線が通過する県の一つである群馬県について、県名と名称が異なる県庁所在地として正しいものを選択してください。なお、隣接する中部地方の県庁所在地と混同しないよう注意が必要です。
(2022年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 長野市 | 2. 高崎市 | 3. 前橋市 | 4. 甲府市 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問12 茨城県では、東京などの大消費地に近いという立地条件を活かし、野菜などの新鮮さが求められる農産物を生産して出荷する農業が盛んに行われています。このような農業の形態を何と呼びますか。
(2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 適地適作 | 2. 土地生産性農業 | 3. 促成栽培 | 4. 近郊農業 |
|---------|------------|---------|---------|